



株式会社丸井グループ
代表取締役社長

青井 浩

マルイグループの経営理念とCSR

マルイグループは、「お客さまのお役に立つために進化し続ける」という理念のもと、社員一人ひとりの「お客さまのお役に立ちたい」という想いを個人・企業の成長につなげることを目指し、事業活動を行っております。近年、企業の社会的責任についての関心が急速に高まっておりますが、マルイはこれまで、クレジット・ビジネスを進化させることで、常にお客さまの立場に立った企業活動を続けてまいりました。また、事業の核である「ファッション」を切り口とした社会貢献「救援衣料活動」(海外への衣料品の寄贈活動)は、今年で17年目を迎えております。

今後もこれまでと同様、変化する時代の中で「何がお役に立てるのか」を常に自らに問い続けながら、マルイとして取組むべきCSRについて考え、実行していきたいと思っております。

社会性を踏まえたライフスタイル提案

「CSR」には、大きく二つの側面があると思います。まずは第一に、企業として社会に対して責任をもった事業活動を行うということです。マルイグループは、企業活動の根幹となるコンプライアンスの徹底は勿論のこと、環境問題についても負荷の少ない効率的な経営ができるよう、ESCOを活用した最新設備を導入するなど年度別の削減目標を立て、計画的に取組んでおります。

もう一つは、商売そのものを通じた社会貢献を進めることです。私どもは「若者のライフスタイルを応援する」ことをミッションに掲げておりますので、環境や人への優しさに配慮したライフスタイルをお客様とともに考えていきたいと考えております。小さな試みですが、今年度は、環境にやさしい自転車を切り口としたライフスタイルを提案する「ローテイトストア」や、身体等にハンディのある方と周囲の方との「意識のバリアフリー」を目的とする、ユニバーサルデザインのブランド「NEXTIDE」の展開もスタートさせました。

このように、今後も社会性を踏まえた新しい切り口でのライフスタイルの提案を積極的に行い、マルイグループならではの社会貢献を進めていきたいと考えております。

「お役にたつために、いま、できること。」

CSRとはたいへん幅広く、奥深いものですが、CSRを進める上で最も重要なことは、全社員が「社会のお役に立つ」ということを全ての判断基準とし、物事を考え行動するようになることだと思っています。人は少なからず、社会に貢献したいという欲求を持っています。身近なことでも良いから「いま、できること」をまず、行動に移してみる。そういった行動を積み重ねることで、社員一人ひとりが企業人としてだけでなく、「社会人」として成長する。そのことでまさしく社会に貢献できる企業へと成長していくことになるものと考えております。

このような考え方にに基づき、私たちの「いま、できること」をまとめたものが、今回が初めての発行となるこのレポートです。CSRという大きなテーマを前に、私どもの取り組みはこれからですが、ご意見やご要望をいただきながら、さらに充実した活動に発展させていきたいと思っております。

今後ともご支援いただきますよう、よろしく願いいたします。